

日本国際経済学会ニュース

発行：日本国際経済学会本部

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1 中央大学経済学部 中條誠一研究室気付

日本国際経済学会本部事務局

Tel : 042-674-3362 (中條研究室) Tel・Fax : 042-674-3341 (林研究室)

E-mail : jsie-off@tamacc.chuo-u.ac.jp

会長挨拶

任期を終えるに当たって

日本国際経済学会 会長
田中 素香

第 65 回大会において会長の指名を受けてからほぼ 2 年、理事、幹事、会員の皆様に支援されて任務を果たして参りました。幸い本部スタッフにも恵まれて大過なく次の会長へバトンを渡すことができそうです。

会長就任の際に、「機関誌への投稿の促進、若手研究者育成活動、日韓セッションの充実」を重点課題にあげておりました。研究活発化と若手研究者のために関東支部総会を毎年実施に切り替えて院生セッションを設けました。この試みは成功し、院生セッションも定着した感があります。2 度にわたって参加した関西支部総会でも午前中に院生を重視したプログラムが組まれておりました。

このような若手研究者の研究発表の活発化を、学会機関誌への投稿の増大に結びつけようと、出版委員長ともタイアップして呼びかけなどをしてまいりましたが、残念ながら、成果に結びつけることはできませんでした。機関誌への年間の投稿数の圧倒的多数はオーバードクターを含めた院生、という経済学会もあります。日本国際経済学会でも出版委員会は若手研究者に配慮した編集を心がけています。機関誌の敷居が高いと敬遠しないで、もっと活発に投稿して欲しいと考えています。

日韓セッションでは、学会本部として韓国経済学会の会長、事務局長との連絡を密にし、10 月日本、12 月韓国でのセッションへの出席者を増やす努力をしたり、共通テーマを設定してセッションの論議が拡散しないように工夫したりしました。今後の一層の発展を念願しております。また将来は中国の世界経済学会との連携も視野に入るかもしれません。

任期 2 年目は改革など前向きに対応が求められますが、本学会の予算にかなり膨大な赤字が発見されたため、その対応に追われました。昨年 10 月理事会の承認を得て検討委員会を立ち上げ、支出削減を盛り込んだ暫定予算案を本年度に間に合わせることができました。しかし学会のサービスの質を維持し長期的に安定した運営をするために、本年 10 月の会員総会では会費値上げを正会員にお願いしなければなりません。本ニュースレターにその詳細を説明しております。会員の皆様のご支援をお願い申し上げる次第です。

2008年9月19日

日本国際経済学会ニュース 2008/09/19 目次

| | | | |
|---------------------------|---|---------------------------|----|
| ◎会長挨拶 | 1 | ◎平成 20(2008)年度特別事業活動基金予算案 | 5 |
| ◎平成 20 年度会員総会 議題 | 2 | ◎選出理事選挙について | 6 |
| ◎平成 19(2007)年度決算案 | 3 | ◎平成 20 年度新入会員申込者 | 7 |
| ◎平成 19(2007)年度特別事業活動基金決算案 | 3 | ◎会員名簿の訂正・異動 | 8 |
| ◎日本国際経済学会の「財政改善」に関する提案 | 4 | ◎本部・各支部事務所所在地 | 11 |
| ◎平成 20(2008)年度予算案 | 5 | | |

平成 20 年度会員総会 議題
会員総会 (第 1 日)

日時：2008 年 10 月 11 日 (土) 13:00~13:30

場所：兵庫県立大学 102 講義室

議長：田中素香会長

1. 平成 19 (2007) 年度事業報告について
 - (1) 第 66 回全国大会開催 (2007 年 10 月 7~8 日 早稲田大学)
 - (2) 機関誌『国際経済 (第 65 回全国大会報告号)』第 58 号発行 (2007 年 10 月)
 - (3) 機関誌 The International Economy, No.11 発行 (2007 年 10 月)
2. 平成 19 (2007) 年度決算案について (3 ページ参照)
3. 平成 19 (2007) 年度特別事業活動基金決算案について (3 ページ参照)
4. 平成 19 年度 (2007 年 10 月-2008 年 9 月) 日本国際経済学会小島清基金決算案について (当日配布資料参照)
5. 平成 20 (2008) 年度事業案について
 - (1) 第 67 回全国大会開催 (2008 年 10 月 11~12 日 兵庫県立大学)
 - (2) 機関誌『国際経済 (日本国際経済学会研究年報)』第 59 号発行予定
 - (3) 機関誌 The International Economy, No.12 発行予定
6. 日本国際経済学会の「財政改善」に関する提案について (4 ページ参照)
7. 平成 20 (2008) 年度予算案について (5 ページ参照)
8. 平成 20 (2008) 年度事業活動基金予算案について (5 ページ参照)
9. 選出理事選挙結果について (6 ページ参照)
10. 日本国際経済学会「役員・本部機構」内規および「選出理事選考」内規の検討結果について
11. 日本国際経済学会小島清賞研究奨励賞および優秀論文賞の発表について
12. その他

会員総会 (第 2 日)

日時：2008 年 10 月 12 日 (日) 13:00~13:20

場所：兵庫県立大学 102 講義室

議長：新会長

1. 新会長の発表について
2. 新副会長の発表について
3. 特命理事の発表について
4. 新監事の発表について
5. 新本部事務局の発表について
6. 新常任理事の発表について
7. 新幹事の発表について
8. 新本部業務の役割分担について
9. 日本経済学連合評議員の選出について
10. 第 68 回全国大会 (2009 年) 開催機関について
11. 第 68 回全国大会「プログラム委員会」の委員長および委員の発表について
12. 「小島清基金運営委員会」の委員長および委員の発表について
13. 顧問の就任依頼について
14. 新入会員の発表について (7 ページ参照)
15. その他

以上

平成19(2007)年度 決算(案)

期間:平成19(2007)年4月1日-平成20(2008)年3月31日

| | 項目 | 2007年度予算 | 2007年度決算 | |
|--------|----------------|------------|------------|-------------------------------------|
| | | 金額(円) | 金額(円) | 備考 |
| 収入 | 前年度繰越金 | 5,602,559 | 5,602,559 | |
| | 会費収入 | 10,000,000 | 8,881,557 | 振込み手数料控除額 |
| | 機関誌売上 | 0 | 300,000 | |
| | 雑収入(預金利息等) | 5,000 | 380,142 | 2007年度全国大会運営費返却分 371,017円を含む |
| | 総計 | 15,607,559 | 15,164,258 | |
| 支出 | 全国大会費 | 2,200,000 | 1,800,000 | |
| | 大会運営費 | 2,000,000 | 1,600,000 | |
| | 大会特別運営費 | 200,000 | 200,000 | プロシーディング費等 (2006年度から3年間限定予算) |
| | 支部運営費 | 2,200,000 | 2,200,000 | |
| | 関東支部 | 1,090,000 | 1,090,000 | |
| | 中部支部 | 350,000 | 350,000 | |
| | 関西支部 | 760,000 | 760,000 | |
| | 機関誌関係費 | 4,500,000 | 3,104,429 | |
| | 機関誌製作費(2冊) | 4,000,000 | 2,828,734 | |
| | 機関誌編集費(2冊) | 250,000 | 100,000 | |
| | 機関誌郵送費 | 250,000 | 175,695 | 通信連絡費1000円を含む |
| | 日本経済学会連合分担金 | 35,000 | 0 | |
| | 国際交流費 | 450,000 | 537,560 | 旅費(航空機),受入宿泊費,日韓 セッション国内交通費,手土産代 |
| | 本部関係費 | 2,940,000 | 1,709,040 | |
| | 印刷費 | 250,000 | 211,983 | |
| | 事務費 | 100,000 | 9360 | |
| | 事務所費 | 150,000 | 0 | |
| | 機器購入費 | 10,000 | 0 | |
| | 消耗品費 | 30,000 | 5,796 | |
| | 通信費 | 900,000 | 381,169 | |
| | 会議費 | 20,000 | 6,615 | 財務委員会会合 |
| | 交通費 | 200,000 | 50,900 | 財務委員会会合 |
| | 謝金 | 400,000 | 290,000 | |
| | 振替料金 | 30,000 | 10,080 | |
| | 学協会サポートセンター委託費 | 750,000 | 743,137 | |
| | ホームページ管理運営費 | 100,000 | 0 | |
| | 会員名簿関係費 | 700,000 | 600,044 | |
| 製作費 | 470,000 | 386,260 | | |
| 郵送費 | 230,000 | 213,784 | | |
| 雑費 | 50,000 | 3,790 | 慶弔費 | |
| (小計) | 13,075,000 | 9,954,863 | | |
| 次年度繰越金 | 2,532,559 | 5,209,395 | | |
| | 総計 | 15,607,559 | 15,164,258 | |

注)上記の「平成19(2007)年度決算(案)」につきましては、岩田伸人監事(青山学院大学)、近藤健児監事(中京大学)、寺町信雄監事(京都産業大学)にご監査頂き、正確であることをお認め頂いております。

参考:2006年度・2007年度の基礎収支

| | 会費収入 | 支出 | 基礎収支 |
|-----------|-----------|-------------|------------|
| 2006年度決算 | 9,344,447 | 12,710,221* | ▲3,365,774 |
| 2007年度決算案 | 8,881,557 | 9,954,863 | ▲1,073,306 |

*「特別事業活動基金への繰り入れ(1,500,000円)」を含む。

平成19(2007)年度 特別事業活動基金決算(案)

期間:平成19(2007)年4月1日-平成20(2008)年3月31日

| | 項目 | 2007年度予算金額(円) | 2007年度決算金額(円) |
|----|------------|---------------|---------------|
| 収入 | 前年度繰越金 | 2,000,204 | 2,000,204 |
| | 雑収入(預金利息等) | 500 | 3,154 |
| | 総計 | 2,000,704 | 2,003,358 |
| 支出 | 次年度繰越金 | 2,000,704 | 2,003,358 |
| | 総計 | 2,000,704 | 2,003,358 |

注)上記の「平成19(2007)年度特別事業活動基金決算(案)」につきましては、岩田伸人監事(青山学院大学)、近藤健児監事(中京大学)、寺町信雄監事(京都産業大学)にご監査頂き、正確であることをお認め頂いております。

*2007年度より本部事務局の所管となった小島清基金については、会計期間が執行ベース(2007年10月1日~2008年9月30日)となっているため、決算(案)は総会当日にお配りいたします。

日本国際経済学会の「財政改善」に関する提案

[改善課題]

- (1)、近年、学会の財政収支は、単年度で約 200 万円の赤字となっており、最低限これを解消すること。
- (2)、さらに、長期的視点に立って、学会の発展に必要な経費の捻出をし、なおかつ長期的に健全財政を維持できるようにすること。

[具体的な改善計画案]

(1)、収入増加

機関誌売上金の確実な回収：30～40 万円
個人会員および維持会員の拡大努力

(2)、支出削減

- ①、プロシーディング費（3 年間の暫定経費）を前倒して削減：20 万円
 - ②、全国大会運営費の削減：20 万円
 - ③、支部運営費の削減：関東（15 万円）、関西（7 万円）、中部（5 万円）で、合計 27 万円
 - ④、本部運営費の削減：会費徴収方法の改善により、約 10 万円
 - ⑤、学会誌印刷代の削減：約 130 万円
- 以上の措置により、支出面では合計 210 万円程度の削減可能

(3)、今後の学会活性化に向けた支出等増加（暫定的案件）

- ①、国際交流費の増加：現在の日韓の交流に加えて、中国の世界経済学会を加えた 3 角交流が俎上に上りつつあります。実現に向けて、徐々に経費が必要になり、完全に確立すれば、50 万円程度の予算が必要
- ②、日本国際経済学会に相応しい新事業展開のための経費：40 万円
何年かに 1 度の国際シンポジウム開催、若手研究者の参加推進策等、学会を活性化するための新規事業費
- ③、予備費：今回削減した全国大会運営費、支部運営費では、賄えない事態が発生した場合に備えた経費として、20～30 万円

以上の対応により、

赤字額：▲200 万円

改善額：240～250 万円

今後の予想必要経費増：▲110～120 万円位

合計：約 70 万円の赤字

ということになります。

これを受けて、次の提案もさせていただきます。

- (4)、個人会員のうち、学生会員を除く正会員（1000 名強）の会費を 1,000 円値上げし、9,000 円とすること。
- (5)、さらに、今回このような事態を招いた原因のひとつに、学会の予算、決算が繰越金を加えたものとなっており、単年度収支が明確でなかったことがあります。したがって、会計上の改善を図り、単年度の収支バランスが明確に分かるようにすること。
- (6)、全国大会と支部運営費の削減努力をしていただきますが、これらは各開催校の事情や企画内容により、予算超過が起ころうと思われれます。その際には、本部事務局への申請・承認（形式的には、内規どおり、総会に提示される決算報告での承認になります）で、必要額を新たに設けた予備費から支出できることとする。ただし、全国大会運営費と各支部運営費は、従来のような取り切りではなく、少なくとも大まかな決算概要の報告を行い、剰余金が生じた場合は、全国大会運営費は返納、支部運営費は繰越しとすること。

以上が、具体的な「財政改善」計画案ですが、これにより、次のような将来展望を抱くことができます。

「正会員の方々には、ご負担をお掛けしますが、会費値上げによる会費収入増で約 100 万円を確保することによって、[年間赤字額（200 万円）と予想必要経費増（110～120 万円）の合計額（310～320 万円）で、改善努力（240～250 万円）をしても埋めることのできない約 70 万円]を補填したうえで、年間 30 万円程度の剰余金を積み立てることができる健全財政状態を確立すること。]

なお、上記の「財政改善」案は、すでに理事会メンバーの「文書による決議」で承認（賛成 31 票、反対 0 票）をいただいております。今度の全国大会での理事会で追認後、総会にて、皆様の承認をいただきたいと思います。

平成20(2008)年度 予算(案)

期間:平成20(2008)年4月1日-平成21年(2009)年3月31日

| | 項目 | 金額(円) | 前年度予算比増減 | 備考 |
|------|----------------|------------|------------|------------------|
| 収入 | 前年度繰越金 | 5,209,395 | ▲393,164 | |
| | 会費収入 | 10,000,000 | 0 | |
| | 機関誌売上 | 300,000 | 300,000 | |
| | 雑収入(預金利息等) | 5,000 | 0 | |
| | 総計 | 15,514,395 | ▲93,164 | |
| 支出 | 全国大会費 | 1,800,000 | ▲400,000 | |
| | 大会運営費 | 1,600,000 | ▲200,000 | |
| | 大会特別運営費 | 200,000 | ▲200,000 | プロシーディング費等前倒して削減 |
| | 支部運営費 | 1,930,000 | ▲270,000 | |
| | 関東支部 | 940,000 | ▲150,000 | |
| | 中部支部 | 300,000 | ▲50,000 | |
| | 関西支部 | 690,000 | ▲70,000 | |
| | 機関誌関係費 | 3,200,000 | ▲1,300,000 | |
| | 機関誌制作費(2冊) | 2,700,000 | ▲1,300,000 | |
| | 機関誌編集費(2冊) | 250,000 | 0 | |
| | 機関誌郵送費 | 250,000 | 0 | |
| | 日本経済学会連合分担金 | 35,000 | 0 | |
| | 国際交流費 | 550,000 | 100,000 | |
| | 本部関係費 | 2,840,000 | ▲100,000 | |
| | 印刷費 | 250,000 | 0 | |
| | 事務費 | 100,000 | 0 | |
| | 事務所費 | 150,000 | 0 | |
| | 機器購入費 | 10,000 | 0 | |
| | 消耗品費 | 30,000 | 0 | |
| | 通信費 | 800,000 | ▲100,000 | |
| | 会議費 | 20,000 | 0 | |
| | 交通費 | 200,000 | 0 | |
| | 謝金 | 400,000 | 0 | |
| | 振替料金 | 30,000 | 0 | |
| | 学協会サポートセンター委託費 | 750,000 | 0 | |
| | ホームページ管理運営費 | 100,000 | 0 | |
| | 会員名簿関係費 | 700,000 | 0 | |
| | 制作費 | 470,000 | 0 | |
| | 郵送費 | 230,000 | 0 | |
| | 雑費 | 50,000 | 0 | |
| 予備費 | 500,000 | 500,000 | | |
| (小計) | 11,605,000 | ▲1,470,000 | | |
| | 次年度繰越金 | 3,909,395 | ▲1,376,836 | |
| | 総計 | 15,514,395 | ▲93,164 | |

平成20(2008)年度 特別事業活動基金予算(案)

期間:平成20(2006)年4月1日-平成21年(2009)年3月31日

| | 項目 | 金額(円) | 備考 |
|----|------------|-----------|----|
| 収入 | 前年度繰越金 | 2,003,368 | |
| | 雑収入(預金利息等) | 500 | |
| | 総計 | 2,003,868 | |
| 支出 | 次年度繰越金 | 2,003,868 | |
| | 総計 | 2,003,868 | |

選出理事選挙について

去る 2008 年 6 月 7 日、選挙管理委員である岸真清、若杉隆平、馬田啓一常任理事の立ち会いの下、選出理事選挙の開票を行いました。その結果について、以下の通り報告いたします。

当初、選挙により選出されました 36 名の当選者のうち 35 名から、理事就任の承諾を頂きましたが、関東支部の会員 1 名から理事就任の辞退がありました。そこで、内規に定められた「選出理事の補充」の条項に従って、1 名の理事を補充した結果、最終的に選出理事（2008 年 10 月就任）は下記の通り、確定いたしました。

なお、総投票者数は 178 人でありました。

関東支部理事当選者（定員 20 名）

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|------|--------|-------|----------|
| 石川城太 | 一橋大学 | 乾友彦 | 日本大学 |
| 馬田啓一 | 杏林大学 | 浦田秀次郎 | 早稲田大学 |
| 郭洋春 | 立教大学 | 勝悦子 | 明治大学 |
| 上川孝夫 | 横浜国立大学 | 木村福成 | 慶應義塾大学 |
| 小島眞 | 拓殖大学 | 斎藤叫 | 中央大学 |
| 櫻井公人 | 立教大学 | 佐々木隆生 | 北海道大学 |
| 佐藤秀夫 | 東北大学 | 戸崎純 | 首都大学東京 |
| 中條誠一 | 中央大学 | 古沢泰治 | 一橋大学 |
| 増田正人 | 法政大学 | 横山正樹 | フェリス学院大学 |
| 若杉隆平 | 京都大学 | 涌井秀行 | 明治学院大学 |

中部支部理事当選者（定員 3 名）

| 氏名 | 所属 |
|------|---------|
| 奥村隆平 | 名古屋大学 |
| 多和田眞 | 名古屋大学 |
| 藪内繁己 | 名古屋市立大学 |

関西支部理事当選者（定員 13 名）

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|------|--------|------|--------|
| 青木浩治 | 甲南大学 | 阿部頭三 | 大阪大学 |
| 石田修 | 九州大学 | 板木雅彦 | 立命館大学 |
| 岩本武和 | 京都大学 | 岡本久之 | 兵庫県立大学 |
| 清水一史 | 九州大学 | 新保博彦 | 大阪産業大学 |
| 田中祐二 | 立命館大学 | 中嶋慎治 | 松山大学 |
| 中西訓嗣 | 神戸大学 | 中本悟 | 大阪市立大学 |
| 広瀬憲三 | 関西学院大学 | | |

平成 20 年度新入会員申込者

※個人情報保護のため削除いたしました。

会員名簿の訂正・異動

※個人情報保護のため削除いたしました。

本部・各支部事務所所在地

【本部事務局】

日本国際経済学会 本部事務局
〒192-0351 東京都八王子市東中野 7 4 2 - 1
中央大学経済学部 中條 誠一研究室気付
Tel : 042-674-3362 (中條研究室)
Tel&Fax : 042-674-3341 (林研究室)
E-mail : jsie-off@tamacc.chuo-u.ac.jp

【関東支部】

日本国際経済学会 関東支部事務局
〒192-8508 東京都八王子市宮下町 476
杏林大学総合政策学部 西 孝研究室気付
Tel: 0426-91-0011 (代表) Fax: 0426-91-5899
E-mail: nishi@kyorin-u.ac.jp

【中部支部】

日本国際経済学会 中部支部事務局
〒44 1 -85 2 2 豊橋市町畑町 1 - 1
愛知大学経済学部 栗原 裕研究室気付
Tel & Fax : 0532-47-4468 (研究室直通)
E-mail: kurihara@aichi-u.ac.jp

【関西支部】

日本国際経済学会 関西支部事務局
〒522-8522 彦根市馬場 1 丁目 1 - 1
滋賀大学経済学部 大川 良文研究室気付
Tel&Fax : 0749-27-1119 (研究室直通)
E-mail: okawa@biwako.shiga-u.ac.jp

【日本国際経済学会ホームページ】 <http://www.soc.nii.ac.jp/jsie/>

【学協会サポートセンター】

〒231-0023 横浜市中区山下町 194-502
Tel: 045-671-1525 Fax: 045-671-1935
E-mail: scs@gakkyokai.jp

【学協会サポートセンターホームページ】 <http://www.gakkyokai.jp/>